

公 示 日：2023年2月8日（水）

調達管理番号：22a00928

国 名：全世界

担 当 部 署：地球環境部水資源グループ水資源第二チーム

調 達 件 名：全世界気候変動による干ばつ対策のための水・衛生分野ニーズ把握に係る調査及び技術支援業務（都市給水）（国内業務主体）

適用される契約約款：

- ・「調査業務用」契約約款を適用します。これに伴い、消費税課税取引と整理しますので、最終見積書において、消費税を加算して積算してください。（全費目課税）

本契約は、国内業務主体の内容となり、経費積算方法と約款上の扱いが異なる部分があります。詳細は「9. 見積書作成に係る留意点（1）報酬について」「10、特記事項（3）その他 ②」をご覧ください。

1. 担当業務、格付等

- （1）担当業務：都市給水アドバイザー
- （2）格付：2号
- （3）業務の種類：その他

2. 契約予定期間等

- （1）全体期間：2023年4月上旬から2023年9月下旬
- （2）業務人月：現地 0、国内 4.30、合計 4.30人月
- （3）業務日数：現地0日、国内86日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- （1）簡易プロポーザル提出部数：1部
- （2）見積書提出部数：1部
- （3）提出期限：2023年2月22日（水）（12時まで）
- （4）提出方法：電子データのみ

➤ 専用アドレス（e-propo@jica.go.jp）

◇ 提出方法等の詳細についてはJICAホームページ内の以下をご覧ください。

「コンサルタント等契約におけるプロポーザル作成ガイドライン（2022年4月）」の「別添資料11 業務実施契約（単独型）公示にかかる競争手続き」

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/20220330.html>

電子メールでの提出時、機構より自動配信にて【受信完了のご連絡】メー

ルが届きます。宛先のアドレス間違いもなく自動配信メールが届かない場合には、提出期限（時刻）までにその旨をお電話で03-5226-6608まで必ずご連絡くださいますようお願い致します。提出期限までにご連絡がなく、機構がプロポーザルを受信できていなかった場合は、該当のプロポーザルは評価対象と致しかねます。

なお、個人の資格で競争に参加する場合、簡易プロポーザル提出5営業日前までに所定の競争参加資格申請書の提出が必要です。

- ◇ 評価結果の通知：2023年3月7日（火）までに個別通知
提出されたプロポーザルを JICA で評価・選考の上、契約交渉順位を決定

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
- ① 業務実施の基本方針 12 点
 - ② 業務実施上のバックアップ体制 4 点
- (2) 業務従事者の経験能力等：
- ① 類似業務の経験 40 点
 - ② 対象国・地域での業務経験 20 点
 - ③ 語学力 12 点
 - ④ その他学位、資格等 12 点
- (計 100 点)

類似業務経験の分野	都市給水に係る各種業務
対象国及び類似地域	アフリカ／全途上国
語学の種類	英語

※語学の証明書に関しまして、TOEIC の IP テストによるスコアレポートも可とした暫定運用は 2022 年 9 月末にて終了していますので、ご注意ください。なお、CASEC や JICA 専門家検定による認定書は、従来より認定の対象外となっていますので、提出（添付）いただく必要はありません。

(詳細：https://www.jica.go.jp/announce/information/20220118_02.html)

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

実施中の案件（別紙の「ルワンダ国キガリ市ンゾベーノトラ間送水幹線強化計画」、「ルワンダ国キガリ市中央北部給水サービス改善計画」、「スーダン国コスティ市浄水場施設改善計画」、「カンボジア国プンプレック上水道拡張計

画」、「ニカラグア国マナグア市送配水改善計画」、「マダガスカル国トアマシナ上水道システム拡張・改修計画」の協力準備調査、「ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクト」、「エチオピア国アディスアベバ市無収水削減プロジェクト」、「ケニア国水道事業体の融資可能な事業形成能力強化プロジェクト」、「マラウイ国リロングウエ市無収水対策能力強化プロジェクト」、「ルワンダ国キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト」、「パラオ国無収水削減能力向上プロジェクト」、に従事している各社。

なお、本件受注者は、別紙内の「マラウイ国ブランタイヤ市無収水対策能力強化プロジェクト」（詳細計画策定調査）、「ラオス国水道事業運営管理能力向上プロジェクト・フェーズ3（MaWaSU3）」（詳細計画策定調査および本体事業）、「イラン国ハーンサールの事例を活用した無収水削減にかかる活動強化プロジェクト」（詳細計画策定調査および本体事業）、「カンボジア国全国水道事業計画策定プロジェクト」（本体事業）の各案件にはご応募いただけなくなります。

(2) 必要予防接種：特になし

6. 業務の背景

2015年9月に国連サミットにおいて採択された持続可能な開発目標(SDGs)では、目標6として「2030年までにすべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」ことが掲げられた。ターゲット6.1では水供給に関して「2030年までに、すべての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。」と定め、ターゲット6.4では「2030年までに、全セクターにおいて水の利用効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取および供給を確保し水不足に対処するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。」とされている。

給水サービスの向上や拡張のためには、その前提条件として水源の確保が必須である。しかし、IPCC第6次評価報告書では、世界平均気温が2011～2020年で1.09℃上昇したとしており、降雨の極端化や海面上昇等の気候変動の影響により、干ばつによる給水制限や沿岸部の水源の塩水化などの問題が顕在化している。同報告書では、目標とするシナリオであっても21世紀末までに1.5℃以下の気温上昇を抑えるシナリオとなっており、さらなる気温上昇によって上述のような気候変動の影響は、さらに悪化することが懸念されている。

このような干ばつ等の気候変動の影響に対する適応策として、新たな水源の確保、地下水等の気候変動に対してより強靱な水源の適切な管理と開発、漏水の削減、節水の促進などが重要であり、さらにこれらの適応策が推進できるように途上国の水道事業体や水供給所管省庁等の能力を強化する必要がある。

このような状況に鑑み、気候変動の影響を大きく受け、干ばつ等のさらなる水ストレスにさらされるアフリカを中心とした途上国において、水・衛生分野における気候変動対策への支援を更に強化するため、ニーズを把握するとともに、限られたリソースを使って最大限の効果を上げられるよう援助の質を高めるための教訓・提言をまとめる必要がある。また、その過程においては、各途上国の現状と課題を踏まえ、先方政府等関係者と協議を通じた案件形成、実施、評価、フォローアップ協力の各段階での専門的知見による調査・分析や、途上国関係機関に対して、給水施設に係る建設・維持管理への技術支援が重要である。

以上の背景を踏まえ、本業務は気候変動による干ばつ対策のための水・衛生分野のニーズ把握を行うとともに、技術協力や資金協力の形成・実施に際して JICA の課題対応力を強化するため、高い技術的専門性に基づく調査業務及び技術指導等を行うことを目的とする。形成中の案件に対しては、対象国の抱える課題解決に資するプロジェクト構成となるよう助言を行うほか、実施中の案件に対しては、設定した効果指標が達成されるよう適切な業務実施方針とすべく助言を行い、質の向上に寄与する。また、個別案件への助言を通じた質の向上を図るだけでなく、複数案件まとめて業務を行うことで、地域・国を横断して類似する案件の状況や進捗・成果を把握し、共通する課題の抽出や、類似案件間における教訓の効果的な反映を行う。

7. 業務の内容

業務従事者は前項の目的を達成するため、JICA 及び関係機関と十分な意見交換を行い、「(1) 対象案件と業務行程」を踏まえて「(2) 業務の内容」にて示す内容の業務を実施する。

(1) 対象案件と業務行程

1) 対象案件

対象となる案件は「(2) 業務の内容」に記載のとおり。

2) 業務行程

本業務は 2023 年 4 月上旬より開始し、2023 年 9 月下旬の終了を目処とする。別紙の日数・時期で想定しているが、案件進捗状況により時期や期間の変更となる可能性がある。

(2) 業務の内容

本業務の業務従事者は、主に国内において専門的見地から調査や技術的助言を

行う。技術協力及び無償資金協力の仕組み及び手続きを十分に把握の上、別紙の対象案件に係る関係コンサルタントや機構職員等と協議・調整しつつ、別紙にある業務を行う。また、複数案件の業務を行い横断的に分析することで、JICAが今後案件を形成する際に有用なナレッジをとりまとめる。具体的担当事項は次のとおりとする。

1) 資金協力（主に無償資金協力）に係る助言

以下の案件に関し、詳細設計や施工監理段階において、技術的観点から助言を行うこと、既存報告書の確認や各種会議への出席を通して、専門的な観点から助言を行うこと等を想定する。

- ・ルワンダ国キガリ市ンゾベノートラ間送水幹線強化計画
- ・ルワンダ国キガリ市中央北部給水サービス改善計画
- ・スーダン国コスティ浄水場施設改善計画
- ・カンボジア国プンプレック上水道拡張計画
- ・ニカラグア国マナグア市送配水改善計画

2) 資金協力（特に無償資金協力）における協力準備調査に係る助言

協力準備調査の調査内容と結果に対して技術的観点から助言を行うこと、既存報告書の確認や各種会議への出席を通して、専門的な観点から助言を行うこと等を想定する。

本業務で予定している案件は以下のとおり。

- ・マダガスカル国トアマシナ上水道システム拡張・改善計画準備調査

3) 技術協力プロジェクトの計画段階における助言

技術協力プロジェクトに関し、国内作業として詳細計画策定調査や先方政府関係機関との協議に係る方針等について専門的な分析・検討、助言を行う。

本業務で予定している案件は以下のとおり。

- ・マラウイ国ブランタイヤ市無収水対策能力強化プロジェクト
- ・ラオス国水道事業運営管理能力向上プロジェクト・フェーズ3 (MaWaSU3)
- ・イラン国ハーンサールの事例を活用した無収水削減にかかる活動強化プロジェクト
- ・カンボジア国全国水道事業計画策定プロジェクト

4) 開発計画調査型技術協力・技術協力プロジェクト等に係る専門的助言

合同調整委員会（JCC）やワーキンググループへの出席を通じたプロジェクトへの専門的な助言を行う。国内作業として関連会議への出席、報告会への出席、

プロジェクト進捗に伴う事業への助言、レポートの確認等を行う。本業務で予定している案件、対象国は以下のとおり。

- ・ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクト
- ・エチオピア国アディスアベバ市無収水削減プロジェクト
- ・ケニア国水道事業体の融資可能な事業形成能力強化プロジェクト
- ・マラウイ国リロングウエ市無収水対策能力強化プロジェクト
- ・ルワンダ国キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト
- ・パラオ国無収水削減能力向上プロジェクト

5) その他の助言・支援等

①気候変動による干ばつ対策のための都市給水分野のニーズ把握

都市給水分野における気候変動適応策について、他ドナーの支援方針や情報を収集・分析した上で、具体的なグッドプラクティスを2～3件選び出すか、もしくは複数案件をサブテーマ等の単位でパターン化する。JICA が実施している案件とグッドプラクティスを比較・分析し、適応策として案件を形成する際の実務的なポイントを提案する。

また、気候変動による干ばつ対策のための都市給水分野のニーズ（案件形成の必要性が高い分野、協力内容、地域・国等）について、以下のような情報収集を通じて把握し、整理する。

- ・ IPCC 報告書等の主要な文献の確認
- ・ 必要に応じて各実施機関等との意見交換
- ・ 上記の技術支援業務を通しての途上国側のニーズ把握

②JICA 水資源ナレッジマネジメントネットワーク（KMN）への技術的助言

JICA では既存のナレッジの共有や活用、新たなナレッジの創造・蓄積・発信を促進するため、水資源 KMN 活動として職員による自主勉強会等を実施している。水資源 KMN の活動について、メンバーの一員として関連会議に出席し、専門的な見地から助言を行うとともに、勉強会の講師や活動成果の対外発信等を行う。

③「水道事業体成長支援一都市水道一」クラスターへの技術的助言

JICA が課題別事業戦略を強化するために導入・推進しているグローバル・アジェンダの一つである「水道事業体成長支援一都市水道一」クラスターに基づく支援戦略の策定において、必要な調査・情報収集・技術的助言を行う。

8. 報告書等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。なお、報告書を作成する際には、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関する

るガイドライン」を参照願います。

(1) 業務完了報告書（和文 1 部）

2023 年 9 月 15 日までに提出。

契約期間中の技術的助言を取りまとめて、業務完了報告書（和文）に添付し、電子データ及び簡易製本各 1 部を提出する。報告書の記載項目案は以下のとおりとする。最終的な記載項目の確定に当たっては、JICA とコンサルタントで協議、確認する。

- 1) 業務の具体的内容
- 2) 業務の達成状況
- 3) 業務実施上遭遇した課題とその対処
- 4) 業務実施上で残された課題
- 5) 業務実施より抽出された教訓
- 6) その他特記事項
- 7) 収集資料

業務時に収集した資料及びデータは分野別に整理しリストを付す。

(2) 業務従事者業務従事月報

業務従事者は、国内における業務従事期間中の業務に関し、業務従事月報を毎月初めに監督職員へ提出する。

(3) 議事録等

各報告書説明・協議や、その他の重要な協議・確認のために協議を行う場合には、先方と当方での認識の不一致が生じないように記録しておくべきと考えられる協議結果の概要について議事録に取りまとめ、JICA に対しても速やかに提出する。上記提出物の他、JICA が必要と認め、書面により報告を求める場合には、速やかに提出する。

(4) 報告書の仕様

報告書全体を通じて、固有名詞、用語、単位、記号等の統一性と整合性を確保すること。報告書の印刷、電子化（CD-R）は、「コンサルタント等契約における報告書の印刷・電子媒体に関する仕様ガイドライン（2020 年 1 月）」を参照のこと。また上記作成資料は簡易製本とする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、以下 URL の「コンサルタント等契約

における経理処理ガイドライン（2022年4月-12月追記版）」（以下同じ）」の「IX. 業務実施契約（単独型）」及び「別添資料2 報酬単価表」を参照願います。

<https://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>

留意点は以下のとおりです。

(1) 報酬について

報酬単価（上限額）については、「経理処理ガイドライン」の別添資料2「報酬単価表」の1. の「(2) 国内業務が主体の場合」に記載のとおり、報酬単価を定めず、直接人件費、その他原価、一般管理費等を直接積算ください。

見積書の様式は以下の URL に掲載しています。

https://www.jica.go.jp/announce/manual/form/consul_gt/index_since_201404.html

「見積書（兼契約金額内訳書）—2023年1月公示分以降（国内業務主体）」をお使いください。

(2) 航空賃及び日当・宿泊料等と新型コロナウイルス感染対策に関連する経費

海外業務がありませんので、該当しません。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 便宜供与内容（国内）

JICA 地球環境部による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 当該業務対象案件の資料、データの提供

イ) 執務スペースの提供

発注者の事業所内での作業を必要とする場合（業務上、やむを得ず必要な場合に限る。）、機構内での作業場所を提供する。

(2) 参考資料

① 以下の資料が、JICA ウェブサイトにて閲覧可能です。

ア) 無償資金協力 協力準備調査報告書

・ルワンダ国キガリ市ンゾベノートラ間送水幹線強化計画

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000038429.html>

・ルワンダ国キガリ市中央北部給水サービス改善計画

https://openjicareport.jica.go.jp/618/618/618_412_12338141.html

・スーダン国コスティ市浄水場施設改善計画

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000024310.html>

- ・カンボジア国ポンプレック上水道拡張計画

<https://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000048875.html>

- ・ニカラグア国マナグア市送配水改善計画

https://openjicareport.jica.go.jp/618/618/618_617_12364154.html

イ) 技術協力プロジェクト 事前評価表

- ・エチオピア国アディスアベバ市無収水削減プロジェクト

https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2020_1700249_1_s.pdf

- ・マラウイ国リロングウエ市無収水対策能力強化プロジェクト

https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2017_1602141_1_s.pdf

- ・ルワンダ国キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト

https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2021_1941889_1_s.pdf

- ・カンボジア国全国水道事業計画策定プロジェクト

https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2022_2108098_1_s.pdf

- ② 本契約に関する以下の資料を JICA 調達・派遣業務部契約第一課にて配付します。配付を希望される方は、専用アドレス (e-propo@jica.go.jp)宛に、以下のとおりメールをお送りください。

- ア) 提供資料：「独立行政法人国際協力機構 サイバーセキュリティ対策に関する規程（2022年4月1日版）」及び「サイバーセキュリティ対策実施細則（2022年4月1日版）」

イ) 提供依頼メール

- ・タイトル：「配付依頼：サイバーセキュリティ関連資料」

- ・本文：以下の同意文を含めてください。

「標記資料を受領した場合、プロポーザル作成に必要な範囲を超えての使用、複製及び第三者への提供は行わず、プロポーザル提出辞退後もしくは失注後に速やかに廃棄することに同意します。」

(3) その他

- ① 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ② 本契約については、通常のコソルタンツ等契約は異なる経費体系となるため、「契約約款第13条（契約金額の精算）第5項」は適用しないこととし、契約金額を超えての精算金額の確定は行いませんのでご留意く

ださい。契約書上でその旨を記載します。

- ③ 本業務の実施にあたっては、「JICA 不正腐敗防止ガイダンス（2014 年 10 月）」（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口または JICA 担当者に速やかに相談してください。
- ④ 本業務については新型コロナウイルスの流行の状況次第で、業務内容が変更となる場合も考えられるため、具体的な開始時期等に関しては JICA と協議の上決定することと致します。

以上

別紙 対象案件一覧

番号	国名	プロジェクト名	スキーム	案件ステータス	渡航回数	現地調査時期	業務日数目途		主な業務	競争参加への制限
							現地	国内		
1	ルワンダ	ルワンダ国キガリ市ノペートル間送水幹線強化計画	無償資金協力	実施中	0	-	0	2	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	国際航業株式会社
2	ルワンダ	ルワンダ国キガリ市中央北部給水サービス改善計画	無償資金協力	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	株式会社日水コン
3	スーダン	スーダン国コステイ市浄水場施設改善計画	無償資金協力	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	日本テクノ株式会社
4	カンボジア	カンボジア国ブンプレック上水道拡張計画	無償資金協力	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	株式会社東京設計事務所
5	ニカラグア	ニカラグア国マナグア市送配水改善計画	無償資金協力	実施中	0	-	0	2	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	株式会社建設技研インターナショナル 株式会社日水コン
6	マダガスカル	マダガスカル国トアマシナ上水道システム拡張・改修計画	協力準備調査	実施中	0	-	0	11	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	調達管理番号(22a00189)の受注者(株式会社TECインターナショナル)と同業務の業務従事者
7	マラウイ	マラウイ国ブランタイヤ市無収水対策能力強化プロジェクト	技術協力プロジェクト	計画中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
8	ウクライナ	ウクライナ国緊急復旧・復興プロジェクト	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
9	ラオス	ラオス国水道事業運営管理能力向上プロジェクト・フェーズ3(MaWaSU3)	技術協力プロジェクト	計画中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
10	エチオピア	エチオピア国アディアババ市無収水削減プロジェクト	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	調達管理番号(20a00432)の受注者(株式会社日水コン)と同業務の業務従事者
11	ケニア	ケニア国水道事業体の融資可能な事業形成能力強化プロジェクト	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
12	ケニア	ケニア国都市給水アドバイザー	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
13	マラウイ	マラウイ国リロングウエ市無収水対策能力強化プロジェクト	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	調達管理番号(18a00490)の受注者(株式会社協和コンサルタンツ)と同業務の業務従事者
14	ルワンダ	ルワンダ国キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	調達管理番号(21a00772)の受注者(株式会社日水コン)と同業務の業務従事者
15	イラン	イラン国ハーンサールの事例を活用した無収水削減にかかる活動強化プロジェクト	技術協力プロジェクト	計画中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
16	カンボジア	カンボジア国全国水道事業計画策定プロジェクト	技術協力プロジェクト	計画中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	
17	パラオ	パラオ国無収水削減能力向上プロジェクト	技術協力プロジェクト	実施中	0	-	0	4	案件への助言、国内の関連会議への出席(国内)	調達管理番号(21a008803)の受注者(八千代エンジニアリング株式会社)と同業務の業務従事者
18	全世界	JICA 水資源ナレッジマネジメントネットワーク(KMN) への技術的助言	その他	-	0	-	0	5	水資源KMNの関連会議への出席、助言、勉強会の講師や活動成果の対外発信	
19	全世界	「水道事業体成長支援」クラスターへの技術的助言	その他	-	0	-	0	5	クラスターに基づく支援戦略の策定において、必要な調査・情報収集・技術的助言	
20	全世界	気候変動による干ばつ対策のための水・衛生分野のニーズ調査	その他	-	0	-	0	5	他ドナーのグッドプラクティスとJICA実施案件との比較・分析、案件形成のための提案	
							業務人日小計	0	86	
							業務人月小計	0.00	4.30	
							業務人月合計	4.30		